

高齢者と障がい者の地域共生型福祉 「富山モデル」研修

NPO 法人 スマイルクラブ
〒277-0858 千葉県柏市豊上町 23-29

助成事業の概要

スマイルクラブは、今後の方向性として「高齢者も障がい者も、一緒に楽しく住める街「スマイルタウン」に向けての準備を進めており、富山県の地域共生型福祉「富山型デイサービス」をスタッフ全員で学び、スマイルタウンに向けてのプラン作成につなげていくことを目的とする。

- 1 時期：2019年6月24～25日
- 2 研修訪問先（富山市内）
 - 1) 社会福祉法人アルペン会 MUROYA
 - 2) 富山県障がい者スポーツ協会
 - 3) とやまダルク（薬物依存症更生施設）
 - 4) NPO 法人 おらとこ
 - 5) NPO 法人 にぎやか
 - 6) 富山 YMCA 駅前センター
※コーディネーター 島田茂氏
(元日本YMCA同盟総主事で富山市在住)
- 3 NPO 法人スマイルクラブスタッフ
- 4 研修報告会 2019年12月22日
柏市民交流センター
- 5 完了報告 2020年3月末

事業の成果

1 富山型デイサービスの現状と課題の把握

今回の大きな収穫については、下記 6 か所の訪問により、高齢者と障がい者についての現状と課題についての把握をすることができた。

- 1) 社会福祉法人アルペン会 MUROYA
多機能型就労支援事業としての MUROYA を訪問し、就労支援の現状を把握できた。将来的には、このような就労支援をスマイルクラブでも実施できるようにしていきたい。
- 2) 富山県障がい者スポーツ協会
富山県では、300名の障がい者スポーツ指導員の方々が日々活動しており、指導員の方々への資格取得のための費用補助などの支援もおこない、全国的には20%程度の稼働率がここでは約50%と高く、積極的な支援体制がこの稼働率につながっていることがわかった。
- 3) とやまダルク（薬物依存症更生施設）
この施設ではアルコール依存やドラッグ依存者など様々な方々が入所しており、社会復帰に向け頑張っている姿を目の当たりにして、貴重な体験となった。基本的な姿勢として、ありのままの人生を受けとめるスタンスが重要であると感じた。ここでの交流がきっかけで、2019年夏に行われたスマイルクラブのスポーツイベントに太鼓イベントとして招へいし、交流がさらに深まった。
- 4) NPO 法人 おらとこ
デイサービス、小規模多機能、就労支援 B 型など幅広く経営をされており、特におらとこ東での赤ちゃんから高齢者までの幅広い受け入れは、今後のスマイルタウンに向けて大きなヒントとなった。そして何より、ここの代表者である野入美津恵氏のエネルギーには驚かされた。つまり、このエネルギーが活動の原点であることを再認識させていただいた。

5) NPO 法人 にぎやか

この法人の代表者の阪井由佳子氏のエネルギーにも感動するとともに、かなり地域に密着した(必要とされる)事業を推進している姿を確認できたことは大きな成果である。

6) 富山 YMCA 駅前センター

不登校やニートなど社会に様々な子どもたちが通う施設を運営しており、YMCA の活動の幅広さを痛感した。

2 スマイルタウンに向けての準備

上記研修をベースに、今後は障がい者も高齢者もともに笑顔が生まれる街「スマイルタウン」実現に向け準備を進めていきたい。

3 本事業の普及

今回の研修を報告書としてまとめ関係者へ配布するとともに、スマイルクラブのホームページにも随時掲載、本事業の普及をはかった。

成果の広報・公表

1 報告書の作成と配布による公表

報告書(別冊)300冊を作成し、関係者へ配布し、本事業の普及をはかった。

配布先としては訪問先、大学等の研究者、地域の障がい者スポーツ関係者、自治体関係者等200か所程度へ配布

2 本事業のスマイルクラブホームページへの公表

1) 研修会の掲載(2019年6月26日掲載)

富山県訪問の掲載

<http://smile-club-npo.jp/?p=5401>

2) 報告会の掲載(2019年12月23日掲載)

<http://smile-club-npo.jp/?p=6105>

3 研修報告会の開催による本事業の公表

2019年12月22日に柏市民センターにて開催し、本事業の普及および公表をおこなった。

今後の展開

基本的には、高齢者も障がい者もともに笑顔の生まれる街「スマイルタウン」構築に向け、今回の研修成果を活かしていきたいと考えている。

そこに向かうまでに、

1 第一ステップ

「スマイルハウスに向けての準備」

地域コミュニティセンターとして、障がい者も高齢者も身近に集えるクラブハウス「スマイルハウス」を建設予定であり、今回の研修成果をここに反映したい。具体的にはハード設計やどのようなプログラムを実施するのかのソフト要件にも反映する予定である。

2 第二ステップ

「スマイル体育館に向けての準備」

地域の健康とスポーツ(パラスポーツ含む)を支えることのできるセンター「スマイル体育館」を「スマイルハウス」のあとに建設予定であり、特に障がい者スポーツ協会でのノウハウも反映したい。

3 第三ステップ

「スマイルタウン」に向けてソフトとハードの構築

上記、第一ステップと第二ステップをまとめ、スマイルタウンに向けての準備をすすめていく予定である。